

(仮称) 富士宮市立郷土史博物館 建設候補地説明会 (きらら利用登録団体) R8.1.26昼

利用者	<p>郊外型・都市型の議論は何回目の委員会から出たのか。</p> <p>それ以降、入れ物だけの話になっていて、何のために博物館を作るのかが抜けているように思う。</p> <p>基本理念を実現するために、運営をするかということが一番大切で、運営を助ける道具として博物館という建物、入れものが必要なはず。何をやるかはっきりしないで、入れ物だけ作ることもあるのか？</p>
利用者	<p>小学校等で学習指導要領に従い、それぞれ生徒が自分で考えて調べるという教育が中心になるが、博物館に学びに来るといのは、自分で考えるのでなく、ただ教えてもらうことになり、指導要領と逆方向のやり方のような気がする。</p>
文化課長	<p>博物館を何のために作るのか、何をするのかというところがまず大切だという点については、本日は説明をそこまではしていない。基本構想と、今作っている基本計画の中で内容を具体的に検討している。</p> <p>基本計画はこれまで4回委員会を行った。2回目に参考となる全国の博物館を参考事例として確認した。その中で事例を見ていくと、都市型のものも郊外型のものもある。事例には無かったが、最近できた松本市の博物館なども都市型だという意見もあった中で、富士宮の候補地も都市型、郊外型を一回検討した方がよいのではという話があり、候補地を郊外型と都市型に分け、まずそれをどちらがよいか検討した。</p>
文化課長	<p>その中で委員からも場所を決めるのが先ではなくて、どんな博物館にしたいのかというところをきちんと話し合った上で場所を決めていくべきだという意見があった。まずはどんな事業を行い、それにどんな施設や部屋が必要なのか、そんな話をした後、場所はどこがいいかということで話をまとめてきた。</p>
教育部長	<p>学習指導要領の中で、自ら学ぶということについても、富士宮市の小中学生は富士山学習という、自分たちで郷土の歴史文化を学ぶ取り組みはすでにできていると思っている。しかしながら、今後、より具体化するために、富士宮市の歴史文化を学び、講座や学習プログラムを博物館で催したり、富士山学習の場として情報提供などの研究支援や出前講座等を行っていきたいと考えている。</p> <p>富士宮市の子供たちが富士山ですとか、歴史を調べる際に、富士市にあるかぐや姫ミュージアムまで行って勉強しているということも聞いているので、富士宮市の歴史文化を知るためにはやはり富士宮市にある博物館で学んでいただきたいと考えている。</p>
利用者	<p>では、どんな博物館を作るのかという話は、今までの4回の議事録を読めば分かるのか。</p>
文化課長	<p>議事録とその資料がHPにアップされている。まず博物館でどんな事業をしていきたいのか、そのためにどういった部屋が必要か、ということが載せてある。</p>
利用者	<p>それはこの市民とともにつくる博物館をつくるための要素を十分満たしていると思っているということか。</p>
文化課長	<p>はい。</p>

利用者	<p>議事録を見たが、そこまで良く書いていない。</p> <p>それから、富士山学習でできていると言うが、私は青木平に住んでおり、駅まで行くことが大変。子供になればもっと大変。真ん中にそういうものを作ったからそれで学習が進むのかというと、簡単には行けない。大人が行くなら話は別だが。中学生・高校生、年齢が上に行けば行くほど、行きやすくはなるだろう。しかし、郷土愛を育てるための、小学校のレベルでやること。中学高校になると受験があり、知識学習が中心になるので、心を育てるには小学生の、街まで行けない人間に対してできるかどうかということ。</p>
利用者	<p>2,3年前に市内の小学校で授業参観したが、子供たちはタブレットで学習していた。タブレットで情報を集めて、一グループ4人くらいのグループで分かれ、自分たちで調べ、グループを変えて、発表し合っているという授業をしていた。インターネットで情報をどこまで広げられるか、富士宮の情報をどれだけ広げるか、そこが一番大切になってくると思う。そういった要素を踏まえているか？</p>
文化課長	<p>小学生の時期にまずは郷土愛をという話について、隣の富士市の話なども伺い、そこでも小学生の時代が大切だと聞いている。学校と連携をして、例えば小学校のうちに歴史を学ぶような時期に学校で社会科見学をという形で集団で来て知っていただく。プラスしてそこに富士山学習で自分たちのことや調べたいことがあれば博物館に来て、実際見て、学芸員に色々話を聞いて学んでもらう。タブレットで皆さん調べているが、インターネットに全ての情報が載っているわけではないので、実際ものを見て分かること、それから学芸員の話聞いて分かること、そういったものがあるので、デジタルを否定しないが、実際に見聞きすることで学んでいってもらいたい。</p>
利用者	<p>私たちが心配するのは駐車場の件。近くに駐車場はあまりない。あっても小さな駐車場が点在している。去年私もスクールに来るのに、駐車場がいっぱいだったことがある。そこはきらら祭りでもお正月でもお祭りでもなく、普通の金曜日で、困った経験がある。</p> <p>資料に満車の日は年間3日しかなかったと書いてあるが、少なくとも私はなんでもない日にそういうことを経験した。きらら駐車場に入れなかった時に、どうすればよいかという問題が、すごく大きな問題がある。3階建ての場合、1階を駐車場にするという案は出なかったか？柱の部分など、全部は使えないまでもかなりの部分が駐車可能になるのではと考える。</p>
文化課長	<p>今場所が決まったという状態で、必要な面積で、単純に今3階建てを例に出している。建物の形は、これから基本設計で検討していくため、その部分は今決まっていない。駐車場をそこに入れるのか入れないのか、その話は今のところ出ていない。ただ、専門業者の話では、中に色々な資料があるので、排気ガスの影響があるという話は聞いたことがある。排気ガスが一階で止まって、収蔵庫に入るといった可能性がある。今はまったく可能性がゼロという訳ではないが、あまり具体的な話はない状態。</p>

利用者	<p>排気ガスというのは、周りを囲った場合のことだと思う。柱だけであれば排気ガスは関係ないと思う。今ある状態とそれほど変わらない。くれたけインの向こうにも大きい駐車場があり、駅にもあるが、あそこからきららに来ることを考えると、やめようかなと思ってしまうのではないかな。</p> <p>だから集会室などで何かイベントがある時にすごく困るのではないかな。普段のカルチャーなどで利用しているだけであれば駐車場の問題はそんなになんかと思うが、集会室で何かイベントをやるときに、駐車場がいっぱいで、そんな遠いところまで行けと言われてたら、まず帰ってしまうと思う。</p> <p>今でもたくさんイベントがあるといっぱいになったりするんで、その辺を考えてほしい。きらら利用者は駐車場のことが一番心配だと思うが、もう少しその点をきちんと考えてから説明会をやってほしいと思う。まだそこまでは考えていないという話だったが、そこはすごく重要なことだと思う。</p>
文化課長	<p>先ほど説明したが、周辺の駐車場と連携していければいいと思っている。</p>
利用者	<p>周辺と言っても、すぐそばに大きい駐車場があるわけではない。小さなところに行くことになる。きららの周りには一方通行が多い。小さい駐車場は使えない。くれたけインところか、駅のところか、または大型ショッピングセンターに皆さん停めると思う。一番確実なのは大型ショッピングセンター。大型ショッピングセンターの協力を得ているかどうか。大型ショッピングセンターはいいという訳ないということもきちんと考えた上でちゃんとしないと、私たちきらら利用者としては納得がいかないと思ってる。</p>
文化課長	<p>ありがとうございます。本当に今の時点で、「この駐車場があります。」というところは言えない状況だが、実際この建物の工事に入るまでは少し時間がある。まだ意見が出ていないが、工事中はもっと駐車場が減るのではという意見もあると思う。工事中の駐車場、工事が終わって、実際使う時の駐車場も、他のまちなかのことを担当している部署や、企画部門と庁内で調整し、しっかり確保していく予定。</p>
利用者	<p>北側に休業している医院がある。あそこを買って、あそこに建てるのではダメか。地図で見るとそれほど大きさが変わらないように思う。市が買って建てれば、街中で利便性も良く、その方が無駄のない気がする。</p>
文化課長	<p>今回きららの駐車場に建てることになったきっかけの一つとして、駅前通りからの接道が取れるというところがまず一つある。北側の土地は、接道が心配。詳しいことは専門でないので分からないが、そういった点がある。民間の土地なので、ここが売りに出ているのか、これから誰かが使うことになっているのか、そこは持ち主がいて、用途が決められている場合もあるので、最初に方針として言ったが、市としてはできるだけ費用がかからないようにということで、市有地に建てるという方針でこれまで検討してきた。新たに土地を求めて建てるというところでは検討してきていない。今北側の土地について提案としていただいたが、基本的には新たに土地を購入することは検討していない。</p>
利用者	<p>作ることはもう決定事項か？</p>

文化課長	<p>はい。市は必要な施設として、作る方向で進んでいるが、実際に作る時というのは作る予算が必要。この予算がつくかどうかは今は分からない。今回基本計画を作っているが、この内容で次のステップに行くときに予算をつけていただけるか。次の基本設計ができたとしても、次の実施設計、それから工事費、それぞれ予算が必要になってくるので、その都度議会等で判断いただき、最終的に予算がついたらできることになる。市とすると必要な施設として進めようとしている。</p>
教育部長	<p>先ほど説明したが、来年からすぐ工事に取り掛かるということではなく、今回基本計画を策定している。この後、基本設計があるが、それが終了すると、実施設計という設計がある。その基本設計と実施設計、それぞれ一年ほどかかると思うので、実際に、工事費の予算をいただいて着工というのが令和10年くらいだろうなと思っている。その間、駐車場についても交渉等しながら、令和10年を目安に工事費の予算、工事に取り掛かれるように準備をしていく。</p>
利用者	<p>先ほど言っていた駐車場の問題に補足して、私たちきららを利用している人は、大体高齢者。仕事をリタイアした人たちがここでワークショップや催し物をやるが、離れた駐車場から来いというのは酷なことだと思う。</p> <p>他の交流センターを見ても、本当にそばの建物内に駐車場があり、みんな利用している。駐車場が少なくなることが、私としてはネック。</p> <p>ただ、もうきららに決まった状態だということにびっくりした。私はそういうつもりで来たのではなく、ここに来た市民が、きららではどうなのかと検討すると思って来た。郷土資料館はいいなと思うが、例えば空き教室であるとか、空き店舗を使うとか、そういう利用法はないのか。</p>
文化課長	<p>ありがとうございます。高齢の方が多いいということで、その辺りは周辺の駐車場を、できるだけ近いところで確保できれば良いと思っている。これから、庁内等で検討していく。決定にびっくりされたとのことだが、いくつか候補地がある中から、一つに絞ったという状態。皆さんの意見をいただき、そういったものにどう対応するかということも踏まえた上で決定となる。今回の説明会でいただいた意見はまた庁内で検討し、対応していくということとしている。候補地を絞り、皆様のご意見をいただいたところである。</p>
文化課長	<p>今回埋蔵文化財センターの話在先ほどしたが、富士宮市では、昭和46年に郷土資料館ができ、そこが文化会館の駐車場になってという歴史があるが、色んなものが市内に集まり、沢山収蔵物や資料がある。</p> <p>そういったものを埋蔵文化財センターに、一か所に一度まとめることができた。市内に点々としているものをやっまとめることができたが、先ほど説明したように富士川の浸水想定区域ということで移転しなくてはならない。なのでそれをまたバラバラにするということではできるだけしたくないと思っている。そのため、空き教室一部屋ではなくて、学校の棟一つ分くらい空けば収蔵物を移せるとしているが、そういう施設は今無いので、博物館の中では湿度や温度などの環境が大切なものは博物館に収蔵し、それ以外のは空いた施設を活用して収蔵していくという方針でいる。</p> <p>空き店舗についても活用はしていけるが、そこだけで展示や収蔵や研究、そういったものまで規模的には難しいと思っている。</p>
利用者	<p>でき上がったら維持費はどのくらいかかるか？</p>

利用者	資料館があり、学芸員がいて、その中に研究などする人もいる。湿度なども保つということがあったとして、年間でどのくらいかかるか。それはみんな税金である。
利用者	学校一つ分くらいの資料があるといっていたが、それをこの建物に収納できないと思う。どうするのか？また他のところで湿度が、設備がと言うのか？このきららの駐車場でなく、都市型や郊外型というが、人穴や村山など世界文化遺産がある山の土地は考えたことはなかったか。
文化課長	<p>費用について、建物の維持費にどれだけかかるのかということは、なかなか計算が難しいところではある。どれくらいの面積が必要か、どれだけの収蔵物があるのかということにもよるが、昨年度市で持っている収蔵品を調査した。教室に棚に置いて収めたとしてどれくらいの面積が必要か調べたところ、900平米ちょっと必要になる。</p> <p>ただその中でも温度・湿度の確保が必要なものを絞っていくと、その分が300くらいになってくる。それ以外の民具や埋蔵文化財などはそこまでの温度湿度管理は必要ないので、既存の建物が使えらると思っている。</p> <p>ですので、博物館自体には今のところ収蔵と、収蔵に必要な部屋併せて540平米を考えている。そこに入らない分については、まとまった施設が空くまでは、病院で持っている施設を使い、病院が使う用ができたなら移すような形で、まずは芝川の埋蔵文化財センターから避難をさせることを考えている。</p> <p>最終的には博物館に置くもの、それ以外の空いた施設に置くものと二つに分けて保存することになる。博物館のほうは2,240平米と想定しているが、どれだけの金額がかかるかというところは、例えば中央図書館のは、床面積が3,800平米あり、建物の維持だけで2,500万弱ある。博物館はこれよりも規模は小さくなるので、そこよりも少なくなると想定している。</p>
文化課長	職員に関しては、今市の中に学芸員が6人いる。この6人がまた博物館の中で働くという形になる。事務職分も併せて、現状の人件費に少しプラスするくらいで、最低限の運営はできていると思っている。
利用者	<p>きららを再利用している。先ほど話があったが、一番心配なのは駐車場。6ページに駐車場について書いてあるものを読んだが、先ほど言われたように使用状況はかなり甘いと思う。これ以上に普段沢山使っており、もしここに博物館ができた場合、使い方が増える。本当に何とかなるか。ギリギリなるかどうか、という感じ。今までよりももっと増える。そしてここはきららだけの駐車場ではない。商店街にも大きい駐車場ない。そういう全体のことも考えてほしい。</p> <p>あと、下の対策検討の所だが、混雑時の臨時の時のことしか考えてないと思う。臨時の時と言っても沢山あるかもしれない。もう少し駐車場を確保して欲しい。</p>
文化課長	周辺には月極駐車場で、10台以上のスペースのあるところが、合わせると400台くらいある。もっと少ないスペースだと沢山あるが、そういった所の所有者の方と色々協議をして、そこはしっかり確保し、できるだけ近くで確保していきたいと思っている。
利用者	公共交通が充実していないから車を使うのであって、まずここに来ている人たちは皆駐車場ありき。ここを利用している人たちの団体を解散させろということになりかねない。
文化課長	駐車場がこれから市のほうで確保できないとなると、そういう話になってしまうと思うが、そのところは庁内各課でしっかり検討して確保するようにしていく。

利用者	半径250mはどれくらいの距離か。分からない人が多いと思うが、きららから北へ行ったらどれくらい、東へ行ったらどれくらいか教えて欲しい。
学術文化財	ここから200mくらいで神田通りに出る。そこより少し先くらい。
利用者	利用者で、色んなものを作ったり持ってきたりする。あまり遠いとすごく大変。
利用者	若くないので、神田通りの先まで歩くというのはカルチャーが消滅してしまう可能性がある。若い人対象でないことを考えてもらいたい。半径100m以内に400台以上あるなら考えてもよいと思うが、250mは結構な距離。
利用者	都市型できららの駐車場に建てるということだが、それは観光客をあてにしているということか？観光客を郷土史博物館に呼べるのか。
文化課長	まずは人づくりの拠点ということで、市民に富士宮の歴史文化を知っていただき、郷土に愛着を持つそういった人を作っていきたい、ということが博物館の基本理念なので、対象は市民。市民が来やすいというところで、アクセスの良さというところはもちろん、観光客が市を知る上で博物館に行くことが出来るということもある。
利用者	色んな都市で郷土資料館が赤字と言われている。採算が取れるか市で考えているか。子供たちが利用するには、今郊外の方にだんだん家が建っていて、郊外の方が子供が多かったりする。まちなかは子供が減っていたりするのになぜまちなかに作るのか。
文化課長	博物館は社会教育施設。例えばこの交流センターや公民館、図書館と同じ施設になるので、それで入場料を取って採算を取るということは考えていない。入場料をどうするかというところは決定していないが、入場料だけで運営費を全部賄うことは考えていないので、市として、社会教育に必要な施設として考えている。富士宮市民の歴史文化をしっかりと守っていく施設、それを皆様に知っていただく施設と考えている。郊外の方が人口が増えているところだが、郊外でも例えばバスは富士宮駅が発着所になっているので、郊外からもバスで来ることは可能と考える。
利用者	郊外はバスがない。みんな車で移動する。
文化課長	図書館もまちなかにある。そういった市民が使う施設、市民の方に来ていただきたい施設はまちなかにあるのが一番良いと思っている。
利用者	車で来るためには駐車場が必要。だから大きな駐車場と設備が一緒になっていないといけない。駐車場を潰して施設を作るのでは無理。
教育部長	ありがとうございます。本日は博物館の候補地について、ご意見や心配事をお聞きするという説明会。やはり駐車場の問題が皆さん一番心配されている。なのでこのまま進めるということではなく、我々が皆様にこういう案があることを示した中で、またご理解を得ながら進めていきたいと思っている。
利用者	郊外型ではなく都市型の施設を作るということは決定しているということか。
文化課長	はい、都市型か郊外型かということでは、都市型ということで決定している。
利用者	市内に4つある高校が2つになると言っている。高校は県の所有地だが、高校ですら4つが2つになるということは、小中学校の統廃合がでてくる。小中学校を利用すれば駐車場も心配ないし、学校をそのままにしておくよりも、有効な利用方法だと思う。

文化課長	<p>市の中で統廃合が決定しているところは無い状況。今北部の学校などで話し合いを始めている。今この施設が無い中、文化課としては、市民の歴史文化をしっかりと守り伝えていくということは、できるだけ早く作っていきたいと思っている。</p> <p>人口が減ることが予想される中で、富士宮の歴史文化を伝えていく人が減ってしまう。伝えられる人が減ってしまうのであれば、なるべく早くそこは対応していきたい。埋もれ、捨てられてしまうものがあれば、しっかり博物館で収蔵していきたいと思う。どこの町にも、その町の歴史文化がある。そういったものは自分の生まれたところへの愛着を生むものであるので、大切にしていかなければならない。今全国的に色んな文化が一律同じようなかたちになっている。その中で富士宮ならではのものをしっかり残して守っていきたい。学校が統合で空いてから作ろうとすると、今よりもっと人口が減り、子供たちも減っている。昔のことを知って伝えてくれるような高齢者の方々もいなくなってしまう。そうすると富士宮の特徴をとらえて伝えていくということが段々難しくなっていくと思うと、できれば早く、文化課の担当としては、守って、皆さんに伝えていくということで、できるだけ早く作りたいと思う。</p>
利用者	その理念に関しては、そんなに反対していないと思う。
利用者	文化財埋蔵センターは年間何人使っているか？
文化課長	手元の資料が一番近くて令和元年の数字で140人。今数字は、具体的なものを持っていないが、昨年度については200、300くらい。
利用者	<p>うちの子供が埋蔵文化財センターに学校で行かない。簡単に言うと必要なのかと考えている。浸水想定域なので作らなければというのは分かるが、都市型郊外型をもう一回考え直してもらいたい。学校再編計画もある。北部の粟倉の方とは色々できると思う。県立高校についてももう少し考えてもらえないか。</p> <p>金曜日に飲みにきたりすると、駐車場はそこそこ8割くらい埋まっている。そういう状況を含めて、駐車場の利用状況が年三回しか満車でないというデータがちょっと嘘っぽい。データは取れているのか。信用できない。</p>
文化課長	これはきららに協力していただいた数字。令和6年ということで、令和7年はもっと利用があったのかもしれないが、令和6年の数字ではこのようになっている。
利用者	都市型郊外型をもう一度見直してもらおうことはできるのかできないのか教えてほしい。
文化課長	先ほども申し上げたが、人づくりの拠点として、市民の方に来ていただく場所として、郊外ではなく図書館や市役所、病院などもある、市民が集まりやすい市の中心地に作りたいと思っている。都市型という所は決定している。
利用者	団体で使っているが、きららの良いところは、市内の人が誰でも使えるところ。各交流センターに行くとなると、基本的にその居住区の人が利用できることになる。だから居住区の人が一人もいないと使えないので、手間になる。再考してもらいたい。
文化課長	まずは駐車場が課題と考えるので、その点を市で検討する。
利用者	もう一つの候補地の、神田川駐車場はダメなのか？車が満車になっていることは1回も見たことない。そういう所を使う方がよいと思う。
文化課長	市内で観光バスが停められる駐車場が浅間大社に少しあり、神田川観光駐車場に20台ほど確保されている。そこの一部に建ててはという話もあったが、建物を建ててしまうと、観光バスがUターンできないようなことも考えられる。

利用者	細長くなっていて、奥の方はずっと空いている。
文化課長	奥のほうに観光バスを停めるようになっている。観光バスを停めるところが少なくなってしまうので、確保しておきたい。神田川観光駐車場もまちなかだが、バス、電車といった交通の拠点として駅前の方がアクセスが良い。両方を比べた時にきららの駐車場で、商店街にも近く、街中の活性化にも役立つ。
利用者	市民でなく、観光客に来てほしいという風にしか聞こえない。市民であれば車で行くので多少遠くても問題ない。神田川であれば、世界遺産センターを見ながら市の博物館を見ることができ、世界遺産センターは、かなりお客さんが色んな所から来ている。そういう人を拾うことができるが、きららに作ると、遠くから来た人が両方を見えるというのは考えにくい。むしろ神田川に作ったほうがずっと両方にとって良いのでは。
文化課長	ありがとうございます。神田川観光駐車場の方がより良いということで、ご意見として今日は伺い、庁内で共有する。
利用者	それは検討するということか。都市型で2つ出ているが、12月中に候補地を1か所に絞り、1月中に説明会をやって、市が候補地を決定するというのは第4回の議事録に出ているが。
利用者	もう市は決めている。いくら私たちが言っても決めていて、変える気は無いと思う。
利用者	であれば検討するとは答えられないのでは。
文化課長	今日は、このきらら駐車場に建てるというところでの課題や皆様の意見を聞き、それをどう解決していくかを、今後市で検討していきたい。駐車場という話はたくさん聞いているので、皆様が引き続き利用できるようにそこはしっかり検討していく。
利用者	生涯学習の場として、駐車場をちゃんと残して欲しい。生涯学習なので、本当に皆さん勉強したい、色んな人と出会いたいからきららを利用する。その中に建物ができてしまうと、人が集えなくなる。そんなことを富士宮市は本当に考えているのか？今度くれたけの向こうに新しい宿泊施設ができる予定。そこも駐車場がなくなる。そうすると駐車場がそれほど無い。そこを市が考えているのかと。浅間さんの3が日、5月、11月、本当にきららは車でいっぱい。それが今度建物が3分の2以上使ってしまったら、一般の車が入れない。生涯学習の場として、場所を確保してもらわないと、何のためにきらら交流センターを作ったのか。
文化課長	本当にこちらの方で色々皆さん活動しているということで、そこは引き続き活動できるように、駐車場の確保を検討していく。
利用者	ここに建てることは決まりということか。
文化課長	市とすると、きららの駐車場が候補地では一番良いと考えており、検討してきた内容を考えても、ここでなら皆さんも来やすく、そこから街中への広がりが見られると思っているので、ここで進めたいと思っている。
利用者	意見出してもだめってということか。
文化課長	皆さんからの意見、課題を頂いてそこを解決して決めたいと思っている。
利用者	どうしてもここに作るのであれば下を駐車場にして、2、3、4階で建てて欲しい。そうすれば駐車場の心配をしなくて済む。観光バスは入り口のところで下し、神田川駐車場に行くので、そこには停めないから。

文化課長	バスに関しては、この駐車場に入ってしまうと、Uターンするだけで、駐車場が無くなってしまうため、駅前通り沿いで停まって、そこで乗り降りする。その場所が取れるように場所を整備してあげたらなと思っている。
利用者	この建物ができると、たくさん車が来るとのことか。
利用者	立体駐車場にしては？予算に組み込んでほしい。
文化課長	駐車場に関しては、これから色々な方法を庁内で検討していくが、できればプラスの予算はかけないでいきたい。できるだけ少なくして博物館を整備していきたい。今街中にある駐車場とうまく協力していければお金はかからないが、色々な方法を考えていきたい。
利用者	習い事は時間があるので、駐車場を探すのに時間がかかってしまうと困る。大きなところを確保してほしい。
文化課長	そういったところもご意見として伺い、どういう風に駐車場を確保していくか検討していく。
利用者	もう決定ということだが、私の意見としては、ここに建てるのは反対。
利用者	駐車場は関係なく、ここに建てること自体が反対。
文化課長	他の場所では良いということか。
利用者	空き店舗や空き教室など、ほかの所ならよい。私たちが使っているのに、ここに建てる理由が分からない。商店街の方も駐車場の無い方はここに駐車券出して停めている。すごく困ると思う。きららで決まっているというのが今日来てびっくりした。
利用者	議会だよりか新聞に、もうきららに建てることは決定で、第二候補は無いと書いてあった。そこまですべて書いておいて、私たちに説明するのはまだ決定ではないという説明をするのは、いかがなものか。段々信用が出来なくなってきた。
文化課長	市の内部として1つに絞ったというのが今の状態。ただ、やはり利用されている方の課題も把握し、解決して建てていくというところで考えている。
利用者	本気で考えれば、きららには作れないと思う。
利用者	議事録を見ると、3階建てで計画していて、地下駐車場を作る計画はどうかという委員の意見に対して、それは検討しないと書いていたのが議事録として残っている。となると、4階建てを本当に作るのか。
文化課長	建物の何階建てというのはまだ決まっていない。その中で駐車場のスペースを作るかどうかも決まっていないので、地下については何とも言えない。
利用者	お金は安くしたいのでは。
文化課長	もちろん。地下については、この地域は地下水がかなり出るということで、ここに博物館を作るにあたり、やはりその対策というところで、検討している。それは文化財、建物を守るためにそういう空間が必要だということもあるが、そこを駐車場にするというところまでは考えていない。なので今地下という話があったが、地下は地下水という面で難しいと思う。
利用者	柱だけの駐車場は1階とはみなさないで、その上に三階建てでも三階建てとなる。壁で仕切ってしまうえばそれは1階になるが、柱だけで作ればそれは1階とはみなされないで、そういう方法もあるのでは。駐車場であれば、そんなに高さはいらぬ。普通の1階よりも低い高さでできるのでどうかと思う。
文化課長	そこはこれから駐車場をどう確保していくか、検討の一つとしていきたい。

利用者	文化財を守るという意味で浸水想定区域から避難させるということだが、富士山火山避難行動マップによると、きららの駐車場が第三次避難エリアに含まれており、一時間以内に溶岩流が到達するという場所になる。文化財は大丈夫か。
文化課長	富士山の噴火する場所がどこかということが特定されないので、色んな可能性を考えた中で、きららの方は、マップの方では一時間なんですけれども、一時間よりはもっと時間がかかるだろうというところは、防災担当に確認はしている。こちらのきららも富士山噴火の際の登山客などの避難場所になっている。駐車場に建物が出来た際には、そこも避難の場所になりうると考えている。
利用者	溶岩流にも耐えうる建物ということか？
文化課長	今のところ鉄筋コンクリート製のものになると思うが、そういったハザードマップも確認しながら施設もどういった対策ができるかというところを施設の整備の中で検討していく。
文化課長	今日のご意見を沢山ありがとうございました。駐車場が不足してしまうと皆様の活動が続けられなくなるという不安はしっかり意見として伺った。そこをどう対応していくか庁内でしっかり検討して対応していきたい。
利用者	その際、250メートルでなく、50mか100mくらいにしてほしい。高齢者は無理。